平成 30 年度　臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	クラウンブリッジ補綴学講座
主任教授	佐藤 亨
プログラム責任者名 （プログラムの管理・運営）	佐藤 亨、久永竜一、野本 俊太郎
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	日本補綴歯科学会専門医　　日本歯科審美学会認定医 日本接着歯学会認定医　　日本全身咬合学会認定医
研修期間（入学時期）	原則として１ 年間。目標到達の程度により最長５年間までとする。（４月）
受入れ人数（総数）	年　５名程度
指導医	佐藤 亨、久永 竜一、野本 俊太郎、 四ツ谷護、新谷 明昌、腰原 輝純、神田雄平、林原貴徳
修了の認定要件	治療を終了した指定された症例の報告書を作成すること。 研修会、症例発表、臨床実技・技工操作実技での評価に合格すること。

プログラムの目的

歯科臨床にかかわる全般的知識の習熟と、補綴治療とくにクラウンブリッジ領域の知識および技能の修得。また、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士を指導できる人材の育成を目的とする。
日本補綴歯科学会認定研修機関の在籍要件を満たすものとする。

ユニット

補綴科（クラウンブリッジ補綴学講座）の臨床専門専修科プログラム
①研修会（講習会，勉強会，症例検討会，若手対象レクチャーなど）への参加
②症例発表　③臨床実技，技工操作実技

一般目標（GIO）

日本補綴歯科学会（必須）、日本歯科審美学会（任意）、日本接着歯学会（任意）、日本全身咬合学会（任意）の各学会認定資格を取得するための知識および技能を修得する。

行動目標（SBOs）

歯科臨床にかかわる全般的基礎知識を修得し、適切な治療計画の立案ができる。
補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な補綴治療が行える。
補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な治療結果の評価ができる。

方略（ＬＳ）

講義・実習：　①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技
ケーススタディ：①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技
臨床実習：　③臨床実技、技工操作実技

評価（ＥＶ）

総括的評価、観察記録、口頭試問：　①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技

プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準

日本補綴歯科学会の専門医申請には学会員歴5年以上かつ認定研修施設所属歴5年以上、学術大会出席、論文・口頭発表のすべてを満たさなければならない。専門医証取得には筆記試験、ケースプレゼンテーション合格、口頭試問および臨床論文１編が必要。
日本歯科審美学会認定医取得には会員歴５年以上（日本補綴歯科学会専門医は３年以上）、学術大会出席、論文・口演発表、ケースプレゼンテーション合格が必要。
日本接着歯学会認定医取得には会員歴５年以上、学術大会出席、論文・口演発表が必要。
日本全身咬合学会認定医取得には会員歴５年以上、学術大会出席、論文・口演発表が必要。

問い合わせ先　佐藤　亨　（ torusato@tdc.ac.jp）